

平成 22 年 5 月 19 日

各 位

株式会社T&Dホールディングス
代表取締役社長 宮戸 直輝
(コード番号：8795 東証・大証第一部)

大 同 生 命 保 険 株 式 会 社
代表取締役社長 喜田 哲弘

過年度の決算短信および決算開示資料の一部訂正について

過去に公表いたしました決算短信および決算開示資料における平成19年3月期第3四半期から平成22年3月期第3四半期までの大同生命保険株式会社の「ソルベンシー・マージン比率」および「実質純資産」、グループ生保3社合算の「実質純資産」について、誤りがあることが判明いたしましたので、訂正いたします。

誤りの原因は、ソルベンシー・マージン比率および実質純資産の構成項目である全期チルメル式責任準備金相当額超過額の算出における事務疎漏であり、今後は事務の見直しを図り、再発防止を徹底してまいります。関係各位にご迷惑をお掛けしますこととお詫び申し上げます。

以 上

【お問い合わせ先】

株式会社T&Dホールディングス 広報部 松尾 TEL 03-3434-9181

大 同 生 命 保 険 株 式 会 社 広報課 前田 TEL 03-3434-9190

1. 訂正内容

【大同生命】

期別	ソルベンシー・マージン比率 (%)			実質純資産 (百万円)		
	訂正前 (a)	訂正後 (b)	差異 (b) - (a)	訂正前 (c)	訂正後 (d)	差異 (d) - (c)
平成 19 年 3 月期第 3 四半期	1,244.9	1,244.8	△0.1pt	1,054,065	1,053,988	△77
平成 19 年 3 月期	1,320.6	1,320.4	△0.2pt	1,109,674	1,109,507	△166
平成 20 年 3 月期第 1 四半期	1,344.8	1,344.5	△0.3pt	1,139,383	1,139,085	△297
平成 20 年 3 月期第 2 四半期	1,266.1	1,265.6	△0.5pt	1,045,130	1,044,724	△405
平成 20 年 3 月期第 3 四半期	1,218.3	1,217.6	△0.7pt	971,673	971,067	△605
平成 20 年 3 月期	1,096.3	1,095.3	△1.0pt	777,216	776,423	△793
平成 21 年 3 月期第 1 四半期	1,103.8	1,102.5	△1.3pt	823,241	822,211	△1,030
平成 21 年 3 月期第 2 四半期	972.9	971.3	△1.6pt	639,193	637,974	△1,219
平成 21 年 3 月期第 3 四半期	800.6	798.3	△2.3pt	458,828	457,386	△1,442
平成 21 年 3 月期	823.4	820.7	△2.7pt	447,941	446,281	△1,659
平成 22 年 3 月期第 1 四半期	975.5	972.4	△3.1pt	541,729	539,832	△1,897
平成 22 年 3 月期第 2 四半期	1,012.3	1,008.9	△3.4pt	550,944	548,873	△2,071
平成 22 年 3 月期第 3 四半期	1,072.5	1,068.7	△3.8pt	584,210	581,944	△2,266

【グループ生保 3 社合算】

期別	実質純資産 (百万円)		
	訂正前 (e)	訂正後 (f)	差異 (f) - (e)
平成 19 年 3 月期第 3 四半期	1,882,554	1,882,476	△77
平成 19 年 3 月期	2,007,846	2,007,680	△166
平成 20 年 3 月期第 1 四半期	2,097,156	2,096,858	△297
平成 20 年 3 月期第 2 四半期	2,002,580	2,002,175	△405
平成 20 年 3 月期第 3 四半期	1,838,678	1,838,073	△605
平成 20 年 3 月期	1,500,741	1,499,948	△793
平成 21 年 3 月期第 1 四半期	1,540,622	1,539,592	△1,030
平成 21 年 3 月期第 2 四半期	1,160,725	1,159,506	△1,219
平成 21 年 3 月期第 3 四半期	932,026	930,584	△1,442
平成 21 年 3 月期	865,521	863,862	△1,659
平成 22 年 3 月期第 1 四半期	1,014,895	1,012,997	△1,897
平成 22 年 3 月期第 2 四半期	1,052,258	1,050,187	△2,071
平成 22 年 3 月期第 3 四半期	1,089,800	1,087,533	△2,266

2. 平成22年3月期第3四半期の決算短信および決算開示資料の訂正箇所

直近の平成22年2月12日に公表いたしました平成22年3月期第3四半期の決算短信および決算開示資料の訂正は以下のとおりとなります（訂正箇所には下線を表示しております）。

(1) 「平成22年3月期 第3四半期決算短信」…P5 3. 生命保険会社(単体)に関する事項 (2) 財政状態に関する定性的情報 ■大同生命保険株式会社

訂正前	訂正後
<p>■大同生命保険株式会社 (省略) ソルベンシー・マージン比率は <u>1,072.5%</u> (前事業年度末は <u>823.4%</u>) となりました。また、実質純資産は <u>5,842 億円</u> (前事業年度末は <u>4,479 億円</u>) となりました。</p>	<p>■大同生命保険株式会社 (省略) ソルベンシー・マージン比率は <u>1,068.7%</u> (前事業年度末は <u>820.7%</u>) となりました。また、実質純資産は <u>5,819 億円</u> (前事業年度末は <u>4,462 億円</u>) となりました。</p>

(2) 「平成22年3月期第3四半期決算のお知らせ(T&D保険グループ分)」…P3 [その他の指標等]

【訂正前】

(単位：億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期末	前年度末比較増減	当第3四半期末	前年度末比較増減	当第3四半期末	前年度末比較増減	当第3四半期末	前年度末比較増減
ソルベンシー・マージン比率			1,016.6%	150.2ポイント上昇	<u>1,072.5%</u>	249.1ポイント上昇	711.3%	120.7ポイント低下
実質純資産	<u>10,898</u>	<u>2,242 増</u>	4,113	809 増	<u>5,842</u>	<u>1,362 増</u>	942	70 増
有価証券差損益(一般勘定)	1,690	1,945 増	933	692 増	714	1,240 増	42	12 増
うち公社債	972	486 増	503	118 増	427	356 増	41	11 増
うち株式	1,077	630 増	635	548 増	442	82 増	—	—
うち外国証券	△257	160 増	△223	8 増	△33	151 増	△0	0 減
うちその他の証券	△122	647 増	3	4 増	△126	642 増	0	0 増
うち金銭の信託	0	0 増	—	—	0	0 増	—	—
うち買入金銭債権	19	19 増	14	11 増	4	7 増	—	—
土地等の差損益	517	9 減	214	8 減	302	0 減	—	—

- (注) 1. 有価証券差損益については、有価証券のうち時価のあるものを記載しております。
 2. 土地等の差損益については、原則として鑑定評価額(重要性の低い物件等については公示価格等)をもとに算出しております。
 3. E E V 計算上の修正純資産は、グループが 8,052 億円(前年度末比 2,698 億円増)、太陽生命が 3,413 億円(同 713 億円増)、大同生命が 3,992 億円(同 949 億円増)、T&Dフィナンシャル生命が 646 億円(同 11 億円増)です。なお、前年度末のグループの修正純資産は、生保3社の合計から平成20年度にT&Dホールディングスが行った借入金および利息等諸費用の合計1,025億円を控除していましたが、平成21年12月にT&Dホールディングスが行った資本調達により生保事業に係る借入金等を全額返済したため、当第3四半期末のグループの修正純資産は生保3社の合計となります。

【訂正後】

(単位：億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期末	前年度末比較増減	当第3四半期末	前年度末比較増減	当第3四半期末	前年度末比較増減	当第3四半期末	前年度末比較増減
ソルベンシー・マージン比率			1,016.6%	150.2ポイント上昇	<u>1,068.7%</u>	248.0ポイント上昇	711.3%	120.7ポイント低下
実質純資産	<u>10,875</u>	<u>2,236 増</u>	4,113	809 増	<u>5,819</u>	<u>1,356 増</u>	942	70 増
有価証券差損益(一般勘定)	1,690	1,945 増	933	692 増	714	1,240 増	42	12 増
うち公社債	972	486 増	503	118 増	427	356 増	41	11 増
うち株式	1,077	630 増	635	548 増	442	82 増	—	—
うち外国証券	△257	160 増	△223	8 増	△33	151 増	△0	0 減
うちその他の証券	△122	647 増	3	4 増	△126	642 増	0	0 増
うち金銭の信託	0	0 増	—	—	0	0 増	—	—
うち買入金銭債権	19	19 増	14	11 増	4	7 増	—	—
土地等の差損益	517	9 減	214	8 減	302	0 減	—	—

- (注) 1. 有価証券差損益については、有価証券のうち時価のあるものを記載しております。
 2. 土地等の差損益については、原則として鑑定評価額(重要性の低い物件等については公示価格等)をもとに算出しております。
 3. E E V 計算上の修正純資産は、グループが 8,052 億円(前年度末比 2,698 億円増)、太陽生命が 3,413 億円(同 713 億円増)、大同生命が 3,992 億円(同 949 億円増)、T&Dフィナンシャル生命が 646 億円(同 11 億円増)です。なお、前年度末のグループの修正純資産は、生保3社の合計から平成20年度にT&Dホールディングスが行った借入金および利息等諸費用の合計1,025億円を控除していましたが、平成21年12月にT&Dホールディングスが行った資本調達により生保事業に係る借入金等を全額返済したため、当第3四半期末のグループの修正純資産は生保3社の合計となります。

(3) 「平成22年3月期第3四半期決算のお知らせ(大同生命分)」…P18 6. ソルベンシー・マージン比率

7. 実質純資産

【訂正前】

6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項 目	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末 (平成21年3月31日)
ソルベンシー・マージン総額 (A)	638,247	497,804
資本金等	273,658	263,870
価格変動準備金	43,445	42,020
危険準備金	52,194	53,220
一般貸倒引当金	1,441	129
その他有価証券の評価差額×90% (マイナスの場合100%)	38,129	△ 86,052
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	25,736	25,817
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	125,150	129,268
配当準備金中の未割当額	7,298	7,176
将来利益	7,108	3,113
税効果相当額	64,083	59,239
負債性資本調達手段等	—	—
控除項目	—	—
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_8)^2+(R_2+R_3+R_7)^2}+R_4$ (B)	119,010	120,901
保険リスク相当額 R_1	27,094	28,235
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	3,546	3,730
予定利率リスク相当額 R_2	15,992	16,814
資産運用リスク相当額 R_3	95,157	94,388
経営管理リスク相当額 R_4	2,853	4,322
最低保証リスク相当額 R_7	892	908
ソルベンシー・マージン比率 (%)	1,072.5	823.4
$\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$		

- (注) 1. 前事業年度末は、保険業法施行規則第86条、第87条および平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。当第3四半期会計期間末は、これらの規定に準じて、当社が合理的と判断する方法で算出しております。
2. 「資本金等」は、次の金額を記載しております。
- ① 当第3四半期会計期間末は、四半期貸借対照表の「純資産の部合計」から、その他有価証券評価差額金、不動産圧縮積立金、繰延ヘッジ損益及び社外流出相当額を控除した額
 - ② 前事業年度末は、貸借対照表の「純資産の部合計」から、その他有価証券評価差額金、不動産圧縮積立金、繰延ヘッジ損益及び社外流出額を控除した額
3. 「土地の含み損益」については、原則として鑑定評価額を、重要性の低い物件等については公示価格を用いて算出しております。
4. 「最低保証リスク相当額 R_7 」は、標準的方式を用いて算出しております。

7. 実質純資産

(単位：百万円)

項 目	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末 (平成21年3月31日)
実質純資産	584,210	447,941

- (注) 前事業年度末は保険業法第132条第2項に規定する区分等を定める命令および平成11年1月金融監督庁・大蔵省告示第2号の規定に基づいて算出しております。当第3四半期会計期間末は、これらの規定に準じて、当社が合理的と判断する方法で算出しております。

【訂正後】

6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項 目	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末 (平成21年3月31日)
ソルベンシー・マージン総額 (A)	635,980	496,145
資本金等	273,658	263,870
価格変動準備金	43,445	42,020
危険準備金	52,194	53,220
一般貸倒引当金	1,441	129
その他有価証券の評価差額×90% (マイナスの場合100%)	38,129	△ 86,052
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	25,736	25,817
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	122,883	127,609
配当準備金中の未割当額	7,298	7,176
将来利益	7,108	3,113
税効果相当額	64,083	59,239
負債性資本調達手段等	—	—
控除項目	—	—
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_8)^2+(R_2+R_3+R_7)^2}+R_4$ (B)	119,010	120,901
保険リスク相当額 R_1	27,094	28,235
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	3,546	3,730
予定利率リスク相当額 R_2	15,992	16,814
資産運用リスク相当額 R_3	95,157	94,388
経営管理リスク相当額 R_4	2,853	4,322
最低保証リスク相当額 R_7	892	908
ソルベンシー・マージン比率 (%)	1,068.7	820.7
$\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$		

- (注) 1. 前事業年度末は、保険業法施行規則第86条、第87条および平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。当第3四半期会計期間末は、これらの規定に準じて、当社が合理的と判断する方法で算出しております。
2. 「資本金等」は、次の金額を記載しております。
- ① 当第3四半期会計期間末は、四半期貸借対照表の「純資産の部合計」から、その他有価証券評価差額金、不動産圧縮積立金、繰延ヘッジ損益及び社外流出相当額を控除した額
- ② 前事業年度末は、貸借対照表の「純資産の部合計」から、その他有価証券評価差額金、不動産圧縮積立金、繰延ヘッジ損益及び社外流出額を控除した額
3. 「土地の含み損益」については、原則として鑑定評価額を、重要性の低い物件等については公示価格を用いて算出しております。
4. 「最低保証リスク相当額 R_7 」は、標準的方式を用いて算出しております。

7. 実質純資産

(単位：百万円)

項 目	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末 (平成21年3月31日)
実質純資産	581,944	446,281

- (注) 前事業年度末は保険業法第132条第2項に規定する区分等を定める命令および平成11年1月金融監督庁・大蔵省告示第2号の規定に基づいて算出しております。当第3四半期会計期間末は、これらの規定に準じて、当社が合理的と判断する方法で算出しております。